

令和5年度

神明宮ガイドブック



大年番町 能見南之切

ご挨拶

幾春巡りても自然界は変わることなく、今年も新緑の季節となりました。

例年、5月第2日曜日（とその前日）に斎行する神明宮例大祭は、江戸期より脈々と、氏子の皆様方の御協力・御尽力により永く伝統を引き継ぎ、現在では、岡崎三大祭りの一つにも数えられております。本年も5月13日（土）、14日（日）の両日に様々な神事・祭事を執り行います。中でも『御神輿渡御』は一番の神事で御神体を御神輿にお移しして、氏子の皆様方の弥栄と安寧を祈願します。また、『山車の宮入り』は8台の山車が灯りを点し、お囃子の音と共に町内を巡り、揃って神明宮に入ります。このお祭りを通して氏子中の皆様方のより一層の教化と深い絆と連帯感を培うことができれば幸いに思います。

かつての日常を取り戻しつつある昨今、神明宮では例大祭を始め、折々の行事も氏子の皆様方と共に斎行してまいります。

大神様の御加護が頂けます様、神明宮に御参拝頂きたいと思います。

令和5年4月吉日
宮 司 加藤 和子
神社役員 深見 吉弘
谷澤 幸次
安井 彰彦



神明宮HP

目 次

ご挨拶	
大年番町氏子総代挨拶	2
年間行事	3
御由緒	4
稻前神社・神明宮との関わりについて	6
能見神明宮古文書等及び各町の記述から過去を辿る	8
三河周辺の出来事	12
斧の頭	13
御成敗式目	14
神明宮例大祭	22
例大祭の歴史	22
祭礼行事日程	23
行事紹介	24
子供会所開き	24
山車の御祓い	24
山車揃え	24
乙女の舞	24
稚児行列	24
境内余興	25
子供連練り込み花火	25
神前奉納花火	25
境内での行事	25
御神輿渡御	26
山車町曳き	28
境内余興	28
山車宮入り	28
山車町曳き順路図・山車紹介	30
岡崎三大祭り・神明宮大祭を写す会	38
編集後記	40
神明宮へのアクセス	

大年番町氏子総代挨拶

令和5年4月吉日
能見南之切 氏子総代 岩堀 豊

新緑が目に鮮やかな、すがすがしい季節となりました。

皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍ではありますが、少しずつ平穏な生活が戻り始め、各地でも各種行事が積極的に行われるようになって参りました。本年も能見神明宮大祭を実施するにあたり、各町年行司様や多くの氏子の皆様のご努力に御礼申し上げます。

本年は能見南之切が大年番を微力ながら努めさせて頂くことに感謝申し上げ、先人の方々が、長きにわたり受け継いできた能見神明宮大祭や行事を後世に継承させることが、私達の使命と心得ます。

各町皆様や崇敬者のお力添えをいただき、能見神明宮を一層盛り上げて頂きたくお願い申し上げると共に、皆様にとって最良の年でありますようご祈念申し上げます。

また、能見神明宮大祭が事故等なく安全に遂行できますよう、皆様のご協力を賜りたいと存じます。



① 松本なかみせ亭
軽食 営業日：金・土・日・月曜日
雜貨 10～16時

④ 占いの友李(ゆうり)
四柱推命
占い 営業日：金・土・日・月
営業時間：10:00～15:00
TEL：090-9180-1720

⑨ おしゃべりサロン じゅげむ
憩いの場 営業日：金・土・日・月曜日
090-1232-4836

① 河西屋
和菓子 なかみせ亭内で葵巻き、
季節の和菓子販売中

⑤ CALME
まつ毛 定休日：月・第2第3日曜日
ネイル 0564-83-6853

⑩ 喫茶 和み
軽食 定休日：月曜日・金曜日
営業時間：8:30～17:00
モーニング・ランチ・テイクアウト

② はいからや
古民具 営業日：金・土・日・月曜日
古布 営業時間：10:00～16:00
中古着物

⑥ 横丁の古本屋
六月 土曜日曜祝日のみ
古本 090-3936-4144 (みさき)

⑪ 株i-Greeon おにぎり
軽食 おにぎり・総菜販売
営業日：未定

③ うさぎとかめ 壽屋
定休日：火・水・木曜日
雜貨 090-4467-9486 (深津)

⑦ パスレル
ケーキ 不定期
PASSERELLE

⑫ 能見不動前
P No.11-14
松應寺
バス通り
能見通
安兵衛

④ きものゆあん
着物 着物レンタル・前撮り・記念撮影
営業日：予約制
TEL：0564-64-0678

⑧ MENARD
エステ
化粧品
販売
岡崎松本代行店
manomano-salon.jp

④ 檻(しきみ)
着付 婚礼・成人式・七五三の
ヘアメイク着付
営業日：予約制

松應寺横丁



年間行事

5月13日 前日祭
 5月14日 大祭
 6月30日 大祓式
 (夏越の祓、茅輪くぐり)

8月13日～15日 御靈祭(盆踊り)



大祓式(夏越の祓、茅輪くぐり)

11月3日 文化祭
 11月15日 七五三詣
 11月23日 新嘗祭
 12月31日 大祓式
 1月1日 元旦祭 初詣
 1月7日 七草かゆと蘇民将来の神符授与
 2月3日 節分祭(豆まき)
 2月11日 建国祭
 (紀元祭、建国記念の日)
 2月中旬 危除け祭
 2月23日 天長祭(天皇誕生日)
 3月15日 祈年祭
 3月下旬 入学祈願祭



七五三詣



入学祈願祭

※このほか、毎月15日には月次祭が斎行されます。
 ※諸事情により日程等が変更になることがあります。

城北飯店

岡崎市材木町82 TEL 0564-21-6545・FAX 0564-21-6560

- ◆宴会場 50名様までご利用いただけます。
- ◆駐車場完備
- ◆カードもご利用いただけます。
- ◆営業時間 ランチ AM11:30～PM 2:30 (オード・ザ・トップ 2:00)
 ディナー PM 5:00～PM 9:30 (カクテル 9:00)
- ◆コロナ禍によって営業時間の変更がある場合がございます
 (第3水曜日・毎週木曜日定休)

**歴史が育てた
岡崎の味**

TEL 0564-3174
 岡崎市真伝町前田18-2
 TEL 0564-21-5786 (FAX 0564-21-8796)
 URL <http://okayutankyo.com/>
 定休日／毎週月曜日・火曜日(ご予約は承ります) 不定期

**名代とんかつ・和食
名代**

一休

能見神明宮
岡崎市元能見町42番地1 鎮座

御祭神

- 一. 天照皇大御神（あまたらすすめおおみかみ）
- 二. 萬幡豊秋津姫命（よろづはたとよあきつひめのみこと）
- 三. 手力男命（たちからおのみこと）
- 四. 須佐之男命（すさのおのみこと）
- 五. 豊受姫命（とようけひめのみこと）
- 六. 市杵嶋姫命（いちきしまひめのみこと）
- 七. 五十猛命（いそたけるのみこと）

※

- 一. 皇室の御先祖神と尊ばれ、また、国民の総氏神と仰がれている神様です。
- 二. 織物の神様。安産・子宝等の神様として信仰されています。
- 三. 力の神様。スポーツの神様として信仰されています。
- 四. 天照皇大御神の弟神であり、高天原での乱暴や、八岐大蛇退治で有名な一方、日本初の和歌を詠んだなど様々な面を見せる神様です。
- 五. 天照皇大御神の御領都神^{みけつかみ}（食事を司る神）で五穀豊穰、衣食住の守り神として崇められています。
- 六. 天照皇大御神と須佐之男命の誓約の際、須佐之男命の剣から生まれた五男・三女神の一柱で、子守の神様、舞踊、謡曲の神様として崇敬されています。
- 七. 林業の神様として、また、土の船を作り海を渡ったことから、造船、航海安全、大漁の神様として信仰されています。

能見神明宮の起りは、平安時代（西暦1000年頃）源頼光の子息、頼家の時、各地で疫病が起きて村々に拡がり、その退散を祈願するため能見村在住の近藤九兵衛の意見で伊勢神宮より正法神を勧請し、榦や杉葉で仮屋形を建てた事に始まります。

承久元年（1219）北条泰時の時代、額田郡を治めていたのが星野判官でした。当時、能見村の代官は伊田の郷（現在の井田町）に在住していました。翌年判官の家来で山田外記氏房が能見村順見の時、その村の源左衛門という者が宮地の寄進を願い出ると、宮地少々と銭50貫文（1文銭で5万枚）を下され、それにより祠を建立します。

祭礼は8月15日夜より16日までとなり、その後、星野判官は15年間額田郡を支配し、神明を敬い山田外記は、本社建立を寄附しました。

その後、祭礼は水無月（陰暦の6月）となり、神移しは、大門村八剣神社神主の藤江内膳が執り行うと伝えられています。

天正20年（1592）になると、神明宮の神主深見六歳に対し、城主田中吉政の家老、辻勘兵衛尉重勝より神主屋敷の寄進がありました。

慶長6年（1601）に伊奈備前忠次により神領5名の黒印状の授与

慶安元年（1648）2月14日には、徳川家光が黒印状から朱印状に改めます。

寛延2年（1749）には社殿を再建、9月15日遷宮式を行います。

明治5年（1872）10月12日、村社に列せられます。

明治41年（1908）10月26日、神饌幣帛料共進神社に指定。

明治42年（1909）本殿拝殿の改築。

大正12年（1923）10月3日、境内社（御鍬社、津嶋社、巖嶋社、稻荷社、五十猛社、荒神社）の6柱を合祀しました。

[出典] 能見村根元之事諸々由来之事、社寺旧記、参河名勝志、旧岡崎市史第7卷



御由緒記外觀

『稻前（いなくま）神社』leftrightarrow神明宮との関わりについて

現在の能見神明宮の姿を顧みる時、歴史の変遷の中に色々な事柄があり、それが連綿として繋がり、今がある事がわかつてきます。

能見神明宮は、幕末の古文書（写し）等により、成り立ちの概略はわかつてきました。

然し、この古文書の外に他の神社に足を運び実施調査したところ、能見神明宮との関わりが不可欠であるのが、現在稻熊町にある「稻前神社」です。

稻前神社は、奈良時代末（780頃）に成立した三河八郷中「位賀郡」＊（のち菅生郡）の男川河畔（現在の根石町あたり）に平安時代初期（800頃）社殿を建て、のち北上して山中に移り（現在地）約400年間鎮座します。

鎌倉時代（約1200～1300頃）に至り、神社の領地が武士（高氏）の庄地となり、稻前神社は、現在の材木町1-3-1 シャンボール康生マンション辺りに移されます。（約300年間鎮座）（＊当時はこの辺りを「久後」といっておりました。）

室町時代末～江戸時代初期（約1590～1600頃）にかけて岡崎城主となつた田中吉政の手により、城郭の拡張工事が行われ（「田中堀」という）神社が堀の内側に位置することから退去を命じられ、天正20年（1592）能見神明宮の敷地に仮勧請。

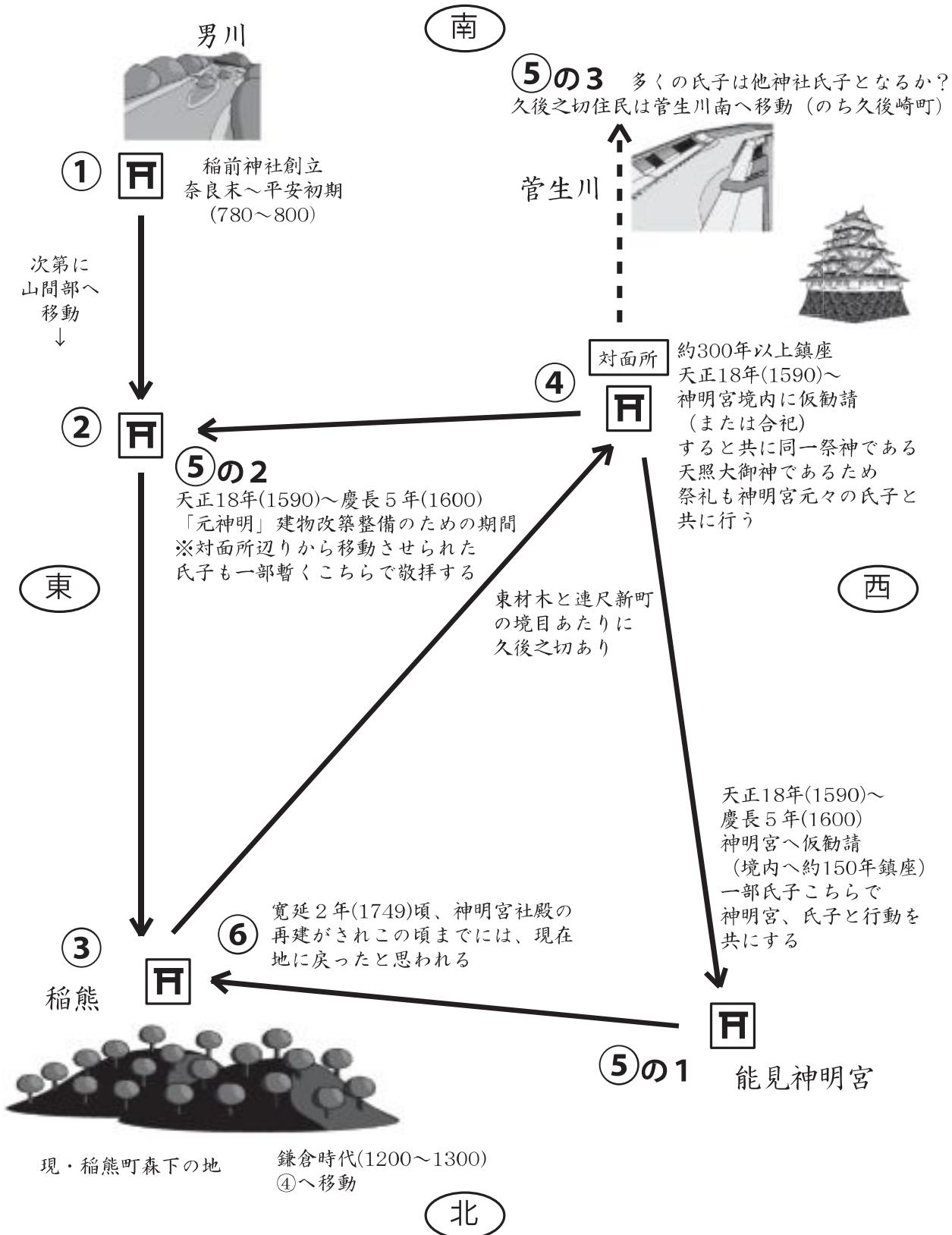
この時稻前神社の氏子は四散し、殆どは菅生川南側に移住（＊此処を「久後崎町」というようになる）。近隣の神社の氏子となり、一部は菅生神社の氏子となり、もう一部はかつての旧社地の社殿に戻り崇拜。久後の切の地の元々の住人は、能見神明宮の氏子と行動を共にすることとなります。

合祀されていた稻前神社は約150年後、能見神明宮社殿再建中の寛保元年（1741）～完成年の寛延2年（1749）の間に現在の稻熊町の地に戻ったと思われます。

（参考資料）

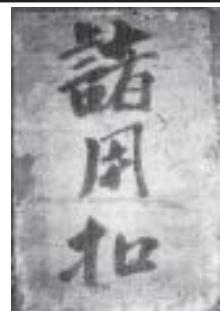
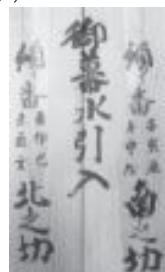
- ・稻前神社石碑　・岡崎藩　・参河聰視録
- ・岡崎における蓬萊・竜神・薬師の信仰とタタラ鍛冶伝承　平成15年3月
- ・有志によるチラシ〔我が町一稻熊の氏神様 稻前神社一〕令和2年1月
- ・報告書 東海道岡崎市城下二十七曲り 平成23年3月刊

いなくま 稻前神社・現在までの推移図（一部仮説）



能見神明宮古文書等及び各町の記述から過去を辿る

※神明宮及び神明社祭事録→(宮) 能見北区有文書→(区) その他→表示無し

和暦	西暦	記述 (▶:世の中の出来事)	
寛政 9年	1797	祭礼 旧暦6月16日	
文化 8年	1811	能見南之切山車御簾の制作 (平成12年御簾の収納箱蓋を発見)	 
天保 14年	1843	能見北之切、南之切、祭礼水引幕を隔年にて 管理(預り番)とする事、保管箱に記載あり(宮)	
弘化 3年	1846	能見村と久後之切論争(区)	
嘉永 元年	1848	山車順序 子供踊り等繰出し(区)	
嘉永 2年	1849	6月、祭礼に花車、山形曳き出し(区)	
嘉永 6年	1853	9月28日夜、本車仕組み「夜、南の切まで曳き出し、子供踊り、 神輿、梵天傘鉢罷り出す…10月1日、材木町、連尺、籠田まで 曳き出す…」(区) ▶ペリー来航(翌年、再来航)	
安政 6年	1859	9月上旬、ころり(コレラ)と申す変病京都より流行(区)	
文久 2年	1862	祭礼車順(区)	
元治 元年	1864	能見中之切山車見返り幕に「干時元治 元年甲子四月大吉日新調之」墨跡	
慶応 元年	1865	長州、防州御成敗として將軍家茂公御 出發(区)	
慶応 3年	1867	8月20日公方様(家茂)大阪に於いて薨御され(区) ▶大政奉還、坂本龍馬、中岡慎太郎暗殺	
慶応 4年	1868	▶9月8日「明治と改元」→一世一元制	

和暦	西暦	記述 (►:世の中の出来事)
明治 2年	1869	►岡崎藩主、藩籍奉還し藩知事になる
明治 4年	1871	►廃藩置県→岡崎藩→額田県→のち額田郡岡崎町へ
明治 5年	1872	能見神明宮、村社に列せられる(宮) ►11月27日 愛知県に合併。12月3日をもって新暦明治6年元日とする。
明治 18年	1885	祭礼 旧暦6月15・16両日 秋9月15・16両日 2度執行
明治 20年	1887	祭礼 この年より旧暦4月15・16両日 9月15・16両日に変更
明治 27年	1894	►日清戦争
明治 28年	1895	►5月13日 広幡村が町政施行→広幡町
明治 33年	1900	久後之切指導の下、渡御を執り行う(現在の渡御の原型)(宮)
明治 34年	1901	久後之切から神輿及び付属品すべてを受取り、礼金40円を支払う。久後之切の稻前神社時代の物として大切に保管していた可能性あり(宮) ►4月29日 昭和天皇誕生
明治 37年	1904	►日露戦争(～明治38年(1905))
明治 39年	1906	前年の日露戦争大勝利凱旋祝賀のため、祭礼余興特に盛大(宮)
明治 41年	1908	神饌幣帛料供進神社に指定(宮) 祭礼 新暦5月15・16日となる(宮)
明治 42年	1909	本殿拝殿の改築 松本町山車、樅山須賀神社に売り払う
明治 44年	1911	5月14日 拝殿新築上棟式(宮)
明治 45年	1912	►明治天皇崩御 7月30日「大正」と改元
大正 2年	1913	諒闇中(喪中)につき、祭礼の一切の余興やめる(宮)
大正 4年	1915	材木二丁目の山車新造されると伝わる(天井画などから推定) 同年松本町も新造
大正 5年	1916	►市制施行 岡崎市へ



和暦	西暦	記述 (►:世の中の出来事)
大正 6年	1917	能見南之切山車、一層に改造
大正 9年	1920	本殿新築され祭礼は6月15・16・17日に執行 (宮)
大正 10年	1921	祭礼 5月15・16両日に戻る (宮)
大正 12年	1923	10月13日 境内社(六社)を合祀 ►関東大震災 ►岡崎電気軌道(後の岡崎鉄道岡崎市内線)延長され9月8日「神明社・能見町駅」が設置
大正 13年	1924	石鳥居完成 (宮)
大正 15年	1926	►大正天皇崩御 12月25日「昭和」と改元
昭和 6年	1931	►満州事変→翌年、満洲国建国
昭和 8年	1933	皇太子殿下(現上皇陛下)御誕生 祝札を立て記念松植えを執り行う (宮)
昭和 11年	1936	戦争拡大でこの年をもって山車の曳き回し中断 (宮) ►二・二六事件
昭和 12年	1937	►日支事変(盧溝橋事件)
昭和 14年	1939	能見神明宮境内に於いて、出征兵士壮行会を材木町有志により実施 ►ソ連国境に於いてノモンハン戦闘起ころ
昭和 15年	1940	皇紀2600年記念石碑境内に建つ (宮) ►東洋初の「東京オリンピック」幻に終わる(戦争激化のため)
昭和 16年	1941	►大東亜戦争勃発
昭和 20年	1945	►7月19日夜半、岡崎空襲(松本町については敷地80%が消失)→終戦
昭和 27年	1952	山車曳き 昭和11年より16年振りに復活 (宮)



和暦	西暦	記述 (►:世の中の出来事)
昭和31年	1956	元能見北町、城北町、柿田町共有の山車を元能見西町（現在の氏子として残っているのは城北町）元能見北町が材木町より山車、小屋共々購入。また能見北之切は、旧車を元に、山車を改造。前山壇箱彫刻の裏面に文政5年の墨書きあり
昭和32年	1957	元能見中町山車新造 翌年元能見南町山車新造
昭和34年	1959	►伊勢湾台風 ►岡崎城再建
昭和35年	1960	松本町山車新造 ►2月23日 今上天皇陛下御誕生
昭和37年	1962	►市内路面電車廃線
昭和39年	1964	►東京オリンピック ►東海道新幹線開通
昭和43年	1968	祭礼 5月第2土曜、日曜になる (宮)
昭和45年	1970	►大阪万国博覧会
昭和58年	1983	大祭 大年番制から総務部8部門制に。代表年行司の誕生(宮)
昭和60年	1985	大祭 12部門制 (宮) ►つくば科学万博覧会
昭和64年	1989	►昭和天皇崩御 1月8日「平成」と改元
平成7年	1995	「お祭りガイドブック」作成 ►阪神・淡路大震災
平成17年	2005	総務部が「大年番」の名称で復活 (宮) ►愛知万博覧会
平成20年	2008	「神明宮ガイドブック」に名称変更
平成22年	2010	氏子町1町の脱退により、大祭、11部門制に変更 (宮)
平成23年	2011	►東日本大震災
平成28年	2016	岡崎市制100周年に合わせ、薪能上演 (宮)
平成31年	2019	氏子町1町の脱退により、氏子町10町となる ►5月1日「令和」と改元
令和2年	2020	新型コロナウイルスの蔓延により、大祭は無し→11月1日各町御旅所に於いて、お祓いのみ斎行する (宮)



「お祭りガイドブック」作成



三河周辺の出来事（権力者の変遷）

承久3年（1221）

承久の変 守護 足利頭義氏 矢作の東に邸を構える。
※吾妻鏡に記録あり

永仁年間（1290年代）

菅生郷を領する高右衛門入道心佛（獅童）→越後守師泰
→刑部丞師秀→菅生郷を総持尼寺に寄進

觀応年間（1350年代）

三河守護 仁木越後守義長の頃、守護代大草の西郷氏岡崎の地に勢力を張り継いで大島右衛門佐義、守護となる

応永の頃（1400年代）

三河守護 一色修理太夫 同左京大夫

嘉吉・文安の頃（1440年代）

三河守護 細川氏→細川讃岐守成之の頃、松平和泉入道（前三代信光）
北方から次第に勢力を顯す。ここに来て西郷、松平の二大勢力の衝突がこの地に起こる。

享徳元年（1452）

西郷弾正代左衛門（清海入道）菅生龍頭山の地を拓き、総持寺領の地を治め初めて城郭を築いたのが岡崎城（龍城）である

※以下略

[出典] 岡崎における蓬萊・竜神・薬師の信仰とタタラ鍛冶伝承 平成15年3月

ひとりひとりの、からだの声に。

パナプラス薬局

むつな店・第2むつな店・三ヶ根店・能見店・小豆坂店

お薬や健康のご相談にも気軽に声かけ下さい。



あおい
在宅クリニック

内科・神経内科

岡崎市能見通1丁目71番地
TEL (0564) 65-2775



皆さんは、いつの日か『これは神様の為せる技だ！』と思った経験はお有りですか？ 司馬遼太郎の小説「竜馬がゆく」の中で、こんな挿話があります。

深山で、ある男が斧を振るって大木を伐っていた時、いつの間に来たのか異獣が背後でそれを見ている。

『何者ぞ』と訊くと『サトリというけものに候』と言う。

あまりの珍しさに男はフト生け捕ってやろうと思った時、サトリは赤い口を開けて笑い、

『そのほう、今わしを生け捕ろうと思ったであろう』と言い当てた。

男は驚き、このけもの容易に生け捕れぬ、斧で打ち殺してやろうと心中たくらむと、すかさずサトリは、

『そのほう、斧でわしを打ち殺そうと思うたであろう』と言った。

男は、ばかばかしくなり、（思うことをこうも言い当てられては詮もない、相手にならずに木を伐っていよう）と斧を取り直すと

『そのほう、今、もはや致し方なし、木を伐っていようと思うたであろう』

とあざ笑ったが、男は、もはや相手にならずどんどん木を伐っていた。

そのうち、はずみで斧の頭が柄から抜け、斧は無心に飛んで異獣の頭に当たった。頭は無惨にくだけ、異獣は二言と発せずに死んだという。

この場面のサトリとは、最初は「山神」を象徴していると思っていましたが、実はそうではなく、サトリでさえ予測できなかつた『斧の頭』こそが山神そのものだとサトリました。

耳鼻咽喉科

 **坂堂医院**

福寿町1-11 TEL 21-6156

岡崎市指定給水装置工事店

有限会社 鶴田住宅設備

住まいのリフォーム・LPガス・太陽光発電

〒444-0072 岡崎市六供町字3丁目3番地
TEL 0564-21-7080

「神は人の敬いによりて威を増し、人は神の徳によって運を添う」

鎌倉時代に制定された、「御成敗式目」の第一条に記されたことばです。

意味は、「神様は人の敬う心によってそのお力を増し、人は神様の徳をいただいて運を開く。」この神様の徳こそが利益です。これは鎌倉幕府第三代執権・北条泰時を中心となってまとめた、日本初の武家政権による法令です。

令和5年、NHKの「大河ドラマ」は、「どうする家康」で徳川家康が主役、岡崎もPRのために訪れた松本潤さんや有村架純さんで賑わいました。昨年は、「鎌倉殿の13人」、鎌倉幕府二代執権となった北条義時を主人公に描かれました。最終回で小栗旬さん演じる義時の演技は圧巻でした。今回はこの義時の長男、北条泰時達が制定した、「御成敗式目」についてのお話です。

彼は1221年の「承久の乱」では、叔父の北条時房とともに幕府軍を率いて後鳥羽上皇方を打ち破ります。1224年、父親の北条義時の跡を継いで三代執権の職に就きました。執権に就任後は、御成敗式目の制定をはじめとした承久の乱の後処理のほか、裁判や政務を合議する評定衆を創設して、執権の独裁政治から合議政治への転換を試みるなど、さまざまな功績を残しました。清廉な政治家として後世まで長く称賛を受けています。

この「御成敗式目」は、みなさんも歴史の教科書で名前をみて、覚えている方も多いと思います。先ず、神社に関わりの深い条文があるので見てみましょう。

- ・神仏や僧侶に関すること（神社仏閣は大事にしようね）

第一条 可修理神社専祭祀事

神社の修理をして大切にし、祭事を執り行うこと

第二条 可修造寺塔勤行佛事等事

寺や塔を修造し、僧侶として仏事等の勤行をすること

御成敗式目の第一条と第二条は、いずれも神仏や祭りに関することです。幕府支配下の地域では、神社やお寺を大切にし、慣習を守ることで神仏の加護にあやかることができる、という内容が記されています。最初に神仏の話が登場するのは、当時の日本人の信仰心の表れではないでしょうか。



<詳細>

・第一条 「可修理神社專祭祀事」（神社を修理し祭祀を専らにすべき事）、「神者依人之敬増威、人者依神之德添運」とあります。これは有名な言葉で「神は人の敬いによりて威を増し、人は神の徳によって運を添う」というものです。以下は、一部抜粋です。

神は敬うことによって靈験（れいげん）があらたかになる。神社を修理してお祭りを盛んにすることはとても大切なことである。そうすることによって人々が幸せになるからである。また、供物（くもつ）は絶やさず、昔からの祭りや慣習をおろそかにしてはならない。

・第二条 僧侶は寺や塔の管理を正しく行い、日々のおつとめに励（はげ）むこと。寺も神社も人々が敬うべきものであり、建物の修理とおつとめをおろそかにせずに、後のち非難（ひなん）されるようなことがあってはならない。また、寺のものを勝手に使ったり、おつとめをはたさない僧侶は直ちに寺から追放すること。

神様は人が崇敬して祭祀を行うことでその力を増し、人は神様のお力によって幸せになるという意味でしょうか。これは、武士からも神社は篤い崇敬を受けていたことが分かる一文です。人が神様を崇敬することで神様から力をいただいて、そしてまた人から神様へ崇敬の念が・・・と良い流れが続いていく。御成敗式目が成立したのは鎌倉時代ですが、こうした昔（いにしえ）より延々と繰り返されて現在の神社があるのではないでしょうか。



家庭での神棚のお祀りにも通ずるところがある

神棚をお祀りする際に「少しでも良いので続けられる範囲でお祀りしましょう」といって継続をすることが推奨されますが、これは御成敗式目の一文にも通じると思います。神棚にお参りして神様に気持ちを届けて、神様から力をもらって日々の生活を頑張って、感謝の気持ちを捧げて、また神様から力をもらって・・・この繰り返しが自分や家族の向上にも繋がるのかも。

次に、全51条からなる「御成敗式目」は以下の内容も含まれています。

- ・幕府の組織に関すること・土地(所領)に関すること
- ・罪と刑罰に関すること・相続に関すること・訴訟手続に関すること

法律はその時代のありさまを反映しており、「御成敗式目」で定められた罰則や権利からは、当時の社会情勢がうかがえます。これらの原則は、現代社会にとっても重要な項目が多くあります。よく見ると令和の時代にも当てはまることがあります。どうな気がしませんか。

時代は変われども、神仏を敬い祖先に感謝する。これを大切にして生きていきたいと思います。

御協賛



医療機器・福祉機器
ミスノケアサービス

水野器械店

〒444-0061 岡崎市能見町8番地
TEL 0564-24-0061 FAX 0564-24-0062

医療
法人

矢藤眼科

☎(0564)
21-0641

岡崎市能見町103

P有り

(財)日本眼科学会 眼科専門医 院長 矢藤仁

営業時間

AM9:00~12:00 PM3:00~6:00

休診日 月曜日・水曜日

日曜・祝日・年末年始



創業明治44年かわらぬ伝統の味

三州岡崎



麺屋万商店

日名本町11-26

電話 0564-24-3072



杉林建設株式会社

〒444-0869 愛知県岡崎市明大寺町字出口14

Tel.0564-22-5215 Fax.0564-22-5122

杉林建設

検索

<https://www.sugibayashi.co.jp>

みたらしだんご
赤飯・祝餅

あまざけ屋 ☎ 23-1258

御琴 三絃 太鼓 竹笛

吉田屋



岡崎市能見町111の1
TEL <0564> 22-6005

★カネボウ トワニーリサージ★
(化粧品)

エスティ ナイキ
etc...



おしゃれ サロン ろうざくや

岡崎市能見町143 ☎ 0564-21-3955
(神明社バス停前)

中部運輸局指定民間車検工場
ホリデー車検岡崎中央 ☎ 0120-704014

早い 30分~

立ち会い説明で安心



ただうちモータース 0564-22-0009
<http://www.tadauchi.co.jp/>
岡崎市朝日町1-13-2 (岡崎社会保険事務所前)

ミッドランド税理士法人

税理士・医業経営コンサルタント

石川 誠



岡崎 岡崎市葵町3番地1

TEL 0564-24-5678

幸田 須田郡幸田町菱池昆沙門123-1

TEL 0564-62-6211



クレーンリース
交通誘導警備

元山重警機械株式会社

本社
豊田営業所

〒444-0915 愛知県岡崎市日名南町19-16 TEL 0564-24-8176 FAX 0564-25-3016
〒437-1204 静岡県豊田市福田中島3433-6 TEL 0538-55-3536 FAX 0538-55-3606

御協賛

～向上的 一路歩まん～
城北中学区専門学習塾

城北ゼミ

444-0063 岡崎市元能見町36
電話 0564-24-1691 fax 0564-24-2345

YASUI PRINTING

YASUI INSATU

安井印刷
〒444-0063
岡崎市元能見町55番地1
TEL(0564) 21-0900
FAX(0564) 21-0944

合同会社 **つながり**
〒444-0917 愛知県岡崎市日名西町8番地8
TEL 0564-28-8022 FAX 0564-21-8228

介護お困りの方はご相談ください
介護施設 ハイム
子供の教育・成長をバックアップ
グットスクール

グループ事業
介護事業
コンサルティング事業
スクール事業
トレーニング事業
代表 佐野文俊

OKS

株式会社 **オーケース**
〒444-0915 岡崎市日名南町4-12
TEL 22-1366

まごころサービス 街の自動車屋さん
(有)小野田モータース

ONODA MOTORS

新車・中古車販売・車検・点検・板金・塗装・各種保険
全車種対応!『てんけんくん』にお任せ!
営業時間: 8:30~18:00 定休日: 日曜日・祝祭日
岡崎市葵町1-11 ☎ 0564-28-2772

運転代行 愛知県公安委員会認定 第98号
優良運転代行業者認定 第25-133号

株式会社 **中日本サービス**

お酒を飲んだら
TEL 0564-25-3600

155 th Anniversary since 1868

より良いモノづくりのために
フレキシブルに対応します。



株式会社 **MINEZAWA**

<本社>

〒444-8588 愛知県岡崎市井田南町4番地5
TEL(0564)-25-5000(代) FAX(0564)-25-5055

<営業拠点>

苫小牧・宮城・千葉・厚木・豊橋・安城・桑名・北九州・福岡

<関連会社>

株式会社 MINEZAWA LOGI (本社併設)

株式会社リーカフリー (東京)

MINEZAWA(THAILAND)CO.,Ltd. (タイ パンコク)

峰澤国際貿易 (天津)有限公司 (中国 天津・蘇州・廈門・広州)

PT.MINEZAWA TRADING INDONESIA (インドネシア リップーチカラン)

MINEZAWA MEXICO,S.A. DE C.V. (メキシコ イラフアート)

雄華機械 (蘇州)有限公司 (中国 蘇州)

MINEZAWA WEBサイトはこちら

www.minezawa.co.jp



御協賛

紙の処理なら 井土商店
ゴミの処理なら タツキ興業
トイレットペーパーは 岡崎紙
岡崎市大樹寺一丁目12-2
TEL 22-6898

株式会社 マルコおおむら
岡崎市葵町3-3
TEL (0564) 21-0231(代表)
FAX (0564) 25-1339

印鑑・ゴム印・表札・ネームプレート彫刻・名刺、ハガキ印刷
尾枝堂印房
岡崎市能見町235番地
TEL (0564) 24-362 FAX (0564) 24-3255
http://obaido.starfree.jp/
E-mail: obaido@d4.dion.ne.jp

新実応接セット有限会社

〒444-0071 岡崎市稻熊町溝道4の1
TEL <0564>24-2938㈹
FAX <0564>23-3223

食べて飲んで歌える お店 リボルバー
Revol Bar
岡崎市松本町1丁目34ドミイル安安ビル 1F

国産黒毛和牛100% リボルバーガー
REVOL BURGER
岡崎市松本町2丁目42-49「松應寺横丁」内

酒肴丼飯 **ゆくら**

岡崎市能見町 240-1
TEL (0564) 25-3133

でんき **イトウ**
(旧 伊藤電気)
岡崎市能見町257(能見バス停前)
TEL・FAX 21-3081

・ロープ・保安具
ワイヤーロープ各種紐類
糸代製綱(株)
本社 能見町243-1
TEL 21-0174

 社会福祉法人 謝徳会
るんびにー保育園
〒444-0073 岡崎市能見通1の93
TEL <0564>21-8526
FAX <0564>28-1889

 寿司・割烹・宴会
新 小嶋
能見町 電話 21-1047番

慶事佛事・生菓子
御菓子司 上田軒
材木町1の49 TEL 22-1490



御協賛



岡崎市松本町イイわ(21-1390)



中川給食㈱内
(フリーダイヤル) 0120-280948

青果物卸

(有)八百憲

岡崎市松本町44
TEL 24-0100

お祭り衣裳

たこ
参州岡崎

注意!
うつります!
お祭りバカ菌
感染者急増中!
松本町 新鍋田屋内
TEL 21-1976

マリヤ美容室

月・火定休

mariya

福寿町1丁目20番地
TEL 26-0701

はり・きゅう治療
吉崎鍼灸院

受付時間 午前 8時～12時 休診日 日曜・祭日
午後 4時～ 7時 土曜午後

岡崎市松本町2-10
TEL 0564-21-8269

『お水を買わない』

ウォーターサーバー誕生。

月額 3,850円で 定額使い放題。



ボトル交換
なし



宅配受取
なし



自動給水で
手間なし

お問い合わせはこちら

電話

まいろかカスタマーサポート

(0564)71-5000

平日10:00～17:00

WEB

↓QRコードから↓



まいろか
株式会社 岡崎特機

岡崎市六名南1丁目1番地3

御協賛

TERAKADO COFFEE

拘り抜いたスペシャルティコーヒーと
もっちり生地のクレープ、無添加素材で作る焼菓子。



寺

coffee

定休日：月曜日
営業時間：10:00～17:00
電話番号：0564-79-0421

terakadocoffee_

漢方 相談

タカキ 薬局

ご予約は 0564-26-1717

営業時間 あさ9:00～よる8:00

お休み 日曜日/祝祭日

岡崎市松本町42-8

西山接骨院

岡崎市松本町2-21
0564-23-5560

午前 9:00～12:00

午後 3:00～ 7:00

日曜・祝日・土曜午後休憩



愛知県岡崎市井田新町3-8

TEL 0564-23-7655

おしゃ



〒444-0062 愛知県岡崎市松本町1丁目51番地

加藤雄士税理士事務所

電話 0564 (21) 3825

FAX 0564 (24) 6498

大衆酒場 どんちゃん

DON-CHAN

岡崎市材木町2-66 ☎0564-24-5605

板金屋根、金属屋根の建築・塗装、神社仏閣の屋根修理

高柳板金株式会社

〒444-0917 岡崎市日名西町9-7

TEL 0564-21-3897 FAX 0564-21-3698

<http://www.yanekaise.net/>

LIVENAS

ENEOS 給油のリフォーム＆エネルギーショップ リバナス エネ・ドウ!

株山本商店

☎ 0120-86-6553

Wine Cellar Umemura

ワインセラーウメムラ

岡崎市材木町2-6

Tel 0564-22-0263

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/umemura/>

ふとん & インテリア

(株)ダイマルヤ

材木町2-62

☎ 22-0242



肉の示田屋

本店・岡崎市伝馬通り ☎21-0771(代)

御協賛

保険調剤 健康のご相談は

イナシマ薬局

岡崎市元能見町 172 番地 9:30~19:00
TEL 21-0902 日曜、祝日休業

JP POST 郵便局

岡崎能見郵便局

岡崎市能見通1丁目69番地
TEL (0564) 21-5993



おかざき福祉会

特別養護老人ホーム

もとのみの里

TEL (0564) 22-7775
FAX (0564) 22-7776

木製アルミ建材・襍・ガラス・建具枠・家具
建具デザイン・木製品(設計・製造・販売・施工)

有限会社 内田木工

〒441-0933 愛知県岡崎市尾頭町字田畠34番地
TEL 0564-73-0909 FAX 0564-73-0910
E-mail office@uchidamokko.com



医療法人

康生歯科医院

〒444-0046 愛知県岡崎市南2-11
TEL 0564-65-0323
FAX 0564-65-0322
<http://www.kosei-dc.com>

■診療時間 AM9:00~PM1:00/PM2:00~6:00 ■休診日 木・日・祝祭日



ほけんの相談室

有限会社 MAX 保険企画

〒444-0052 岡崎市康生町349番地3-102

TEL 0120-17-4919 FAX 0564-64-0582
イーナ ヨクイク

総合人材サービス

人が足りない時

仕事を探しているとき

なんでもご相談ください



一般貨物運送

小型貨物から大型貨物まで

製品の定期配送など

なんでもご相談ください



株式会社 J N S

〒444-0068 岡崎市井田南町9-4

電話 0564-65-5222

神明宮例大祭

例大祭の歴史

鎌倉初期 (1220年頃)	祭礼は初め8月15日夜より16日まで、氏子が集まって御神酒を備え、樂を上げて祭りをした。…（中略）…その後、祭礼は水無月にした（能見村根元之事）
江戸中期 (1750年頃)	例祭6月15日なり、山車両輶出す、氏子町中を引きわたす、童子の舞などあり、美觀云わん方なし（参河名勝志）
明治初期 (1880年頃)	旧暦6月15日・16日と9月15日・16日に行われていました。
明治中期	明治20年(1887年)より、旧暦4月15日・16日と9月15日・16日に変更されました。
明治末期	明治41年(1908年)、明治天皇より幣帛料の御下附が有り、その勅使を迎えるにあたって、祭礼を新暦の5月15日・16日に変更しました。
昭和中期	昭和27年(1952年)、戦争の拡大により中断されていた山車の曳き廻しが、16年ぶりに復活しました。 昭和40年(1965年)以前は、神官は馬に乗って渡御をしていましたが、これ以降乗用車を利用するようになりました。
昭和末期	昭和53年(1978年)、境内において奉納花火が復活しました。 昭和54年(1978年)、トラックによる御神輿の運行を新製した御神輿台車での運行に変更しました。

上記以外にも、時には時代に合わせ、時には時代に翻弄されやむを得ず様々な変遷を経てきた例大祭。今後も変えるべきところは変えつつも、伝統はしっかりと守り継続していく所存です。そのためには、氏子町内の皆様のみならず、様々な方の協力が不可欠となります。今後とも何卒、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



祭礼行事日程

5月1日（月）

13時30分～ 大幟旗棹立ち上げ 於：神明宮境内

5月5日（金）

9時00分～ 子供会所開き 於：各町子供会所

5月13日（土）

9時30分～ 山車の御祓い 於：神明宮境内

10時30分～ 前日祭 於：神明宮本殿

10時30分～ 山車揃え 於：宵祭り会場

13時30分～ 乙女の舞奉納 於：神明宮神楽殿

15時00分～ 稚児行列 於：宵祭り会場～

神明宮境内

15時00分～ 境内余興 於：神明宮境内

18時00分～ 子供連練り込み花火 於：神明宮境内

19時20分～ 神前奉納花火 於：神明宮境内

5月14日（日）

8時00分～ 御神輿渡御 発：神明宮

12時00分～ 例大祭 於：神明宮本殿

13時00分～ 山車町曳き 於：各町

13時30分～ 乙女の舞奉納 於：神明宮神楽殿

15時00分～ 境内余興 於：神明宮境内

19時20分～ 山車宮入り出発 発：神明橋付近

～21時30分 神明宮大祭終了 於：神明宮

5月15日（月）

15時00分～ 終祭 於：神明宮本殿

※天候等、諸事情により変更する場合があります。

行事紹介

子供会所開き（5日：9時～）

各町の子供会所にて、例大祭の安全と成功を祈願し御祓いが行われ、子どもたちによる獅子の練り込みが始まります。子供たちの元気な声が響き渡り、氏子内のお祭りムードが高まっていきます。

山車の御祓い（13日：9時30分～）

早朝より各町の山車が小屋から曳き出され、飾り付けが行われた後、境内に整列し、一斉に山車の御祓いが行われます。氏子各町の関係者も勢揃いして、山車曳きの安全を祈願し、いよいよ祭礼が始まり、引き続き拝殿において前日祭が斎行されます。



山車揃え

山車揃え（13日：10時30分～）

御祓いを終えた山車は神明宮の南、能見不動尊前の通りに移動します。時には有志によるイベントなども行われ、宵闇が迫る頃になると、提灯に明かりを灯し、ライトアップされた優美な姿を見せてくれます。

乙女の舞（13・14日：13時30分～）

各町から選ばれた小学校高学年の乙女たちが、優美な舞を神楽殿にて奉納披露いたします。

雅楽にあわせて緩やかに舞う姿は、時の流れが止まってしまったかのようなひと時を演出してくれます。



乙女の舞

稚児行列（13日：15時～）

お子様の健やかなご成長を願い毎年行っています。お化粧をして伝統的な昔の装束を身に着け、持花を持って、練り歩きます。最後に境内にてご祈祷を受け、お稚児さんの無病息災を願います。氏子の方は、日曜日に行われる渡御行列にて各町御旅所でご祈祷を受けることもできます。

稚児行列は、3回参加すると幸せになれると言われています。

能見神明宮では毎年行っていますので、詳しい情報は神明宮ホームページをご覧ください。



境内余興（13日：15時頃～）

これまで、厄年会による餅つき・スタンプラリー・bingoゲームなどを行ってきました。今年はどんな余興があるのか、お楽しみに。

子供連練り込み花火（13日：18時～）

土曜日の宵、各町の子どもたちが花火の入った長持ちを担ぎ、境内に練り込んでまいります。全町練り込み後、境内にて御祓いを受け、賑やかでかわいらしい子ども花火の始まりです。

神前奉納花火（13日：19時20分～）

子ども花火に引き続き、境内では手筒花火などの伝統的な三河花火が奉納されます。華麗で勇壮な三河花火の醍醐味をお楽しみください。



神前奉納花火

御神輿渡御（14日：8時～）

（次ページをご覧下さい。）



御神輿渡御

境内での行事（14日：12時～）

御神輿渡御行列が戻ってきた境内では、正午より神明宮本殿にて大祭が斎行されます。大祭後には境内の藤棚にて茶席が設けられ呈茶を行っています。

また、神楽殿では前日同様乙女の舞の奉納披露があり、雅楽の奏でにのせた優雅な舞いは見ている人の心を洗います。

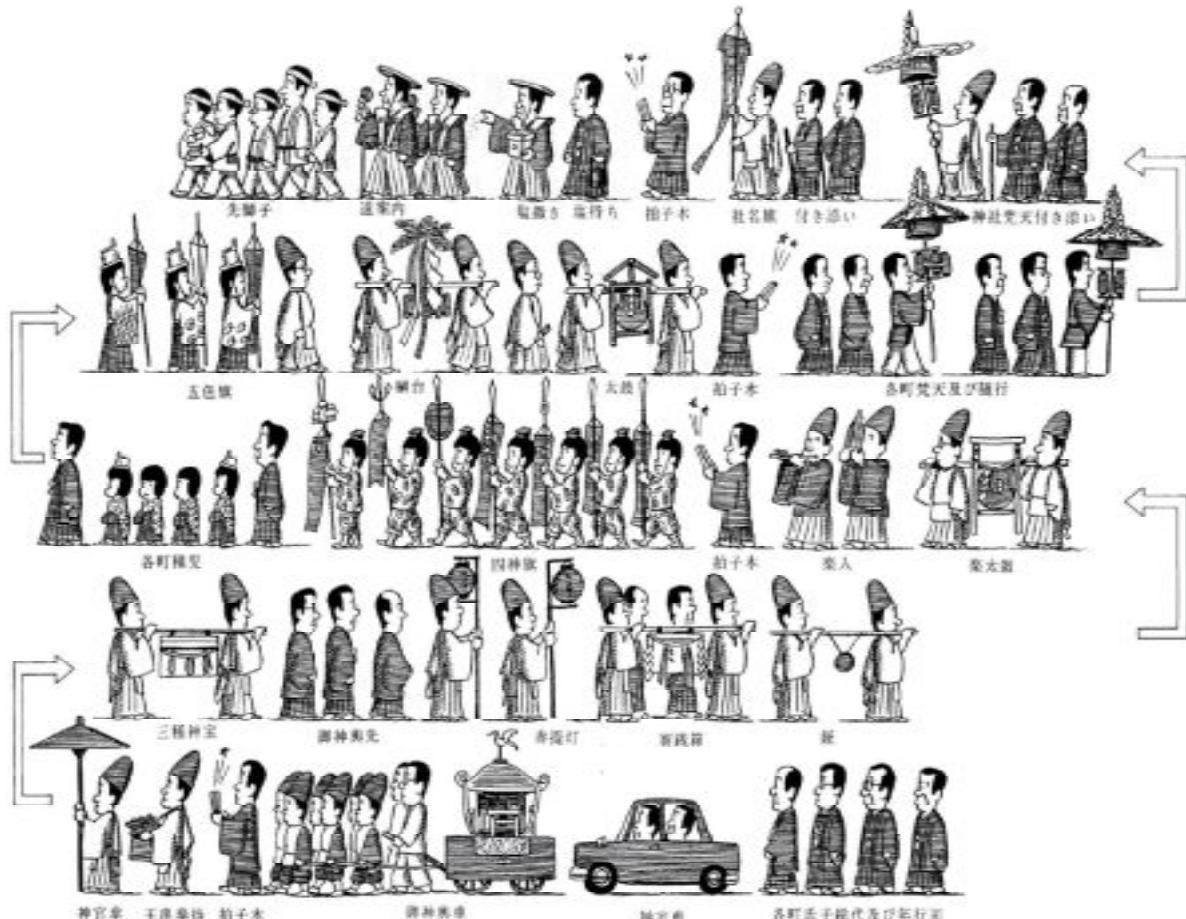
御神輿渡御

神明宮の御神体を神輿に移して氏子各町を巡る祭礼の重要な神事です。

江戸時代中期からほとんど変わることなく現代に引継がれてきた神明さんの御神輿渡御は、他ではなかなか見ることができなくなってしまった祭礼風景といえるでしょう。

先獅子と呼ばれる金色の獅子を先頭に進む数百メートルの行列は、まさに平安絵巻と呼ぶにふさわしいもので、各町に設けられた御旅所では町の安全と繁栄を祈願して御祓いが行われます。神明さんのお祭りを語る上で欠くことのできない渡御の厳肅な雰囲気を皆さんも充分に味わってください。

御神輿渡御行列図



重の家
日本料理

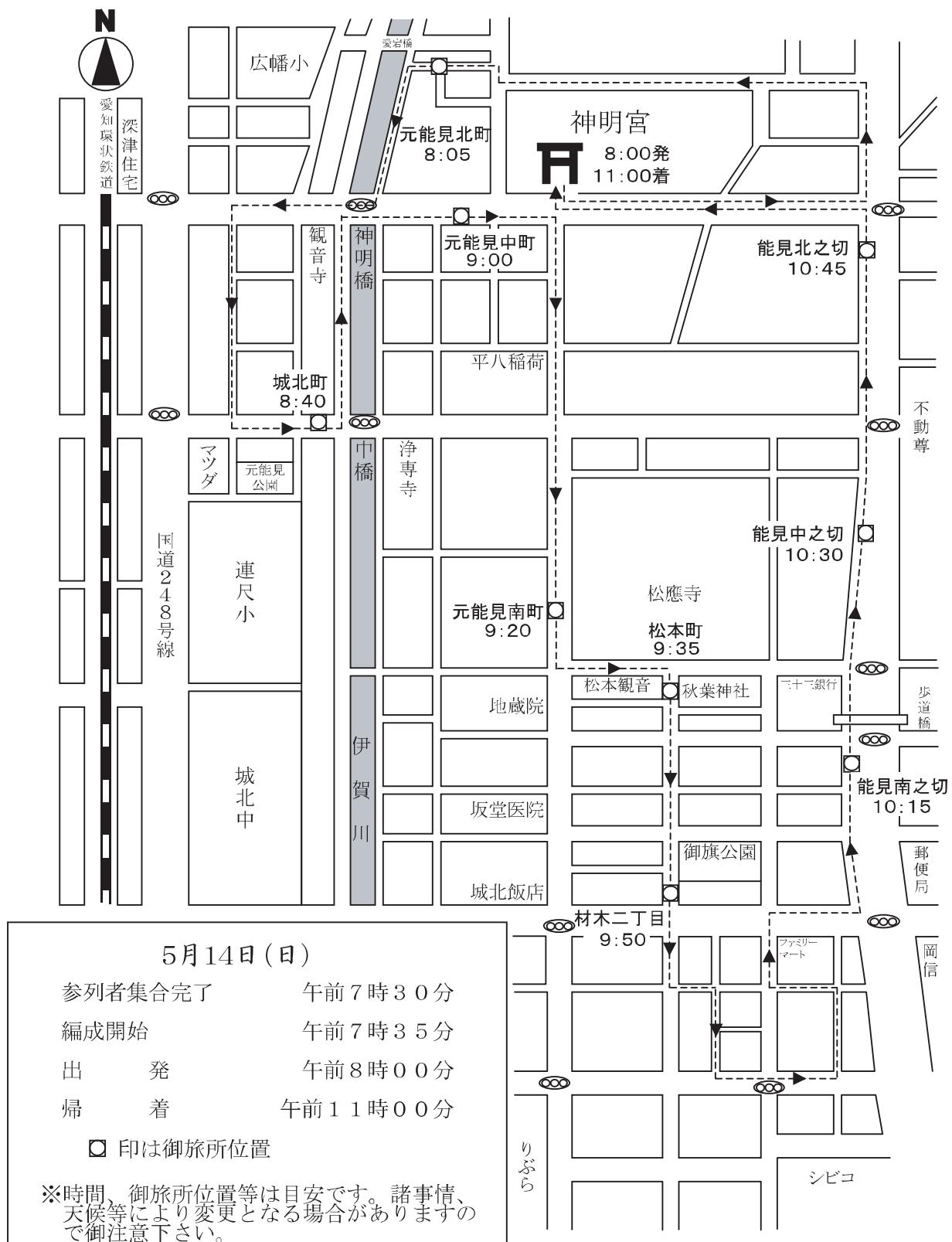
（0564）22-8686
〒444-0059
岡崎市井田新町3-6

営業時間 AM11:30～PM 2:00
PM 5:30～PM10:30
(オーダーストッフ PM 9:00)
■月曜日定休■

〒444-0071 岡崎市真伝吉祥1丁目1番地2

ファミリーマート
岡崎真伝町店 (54691)
電話 0564-65-8722

御神輿渡御順路図



山車町曳き（14日：13時～）

現在神明宮の氏子には8台の山車があります。この山車も明治の頃までは三層式（三階建て）でしたが、道路事情や電線にかかるなどの理由により、現在のような山車に改造されたり、新しく作り直されたりしました。

各町独自のお囃子を奏でながら、氏子町内を曳き廻されます。また辻々で止められた山車の前面からは舞台が引き出され、踊りが披露されます。

お囃子や踊りで彩られた山車町曳きで、祭りの雰囲気は一層華やいだものとなります。

30頁より各町の山車の紹介をしています。



山車町曳き

境内余興（14日：15時頃～）

これまで、城北中学校のオーケストラ部による演奏・スタンプラリー・bingoゲームなどを行ってきました。今年はどんな余興があるのか、お楽しみに。

山車宮入り（14日：19時20分～）

昼間、各町を曳き廻し子どもたちの踊りを披露した山車が、夕方には神明橋に集まってきます。いよいよ祭りのクライマックス「山車宮入り」の始まりです。

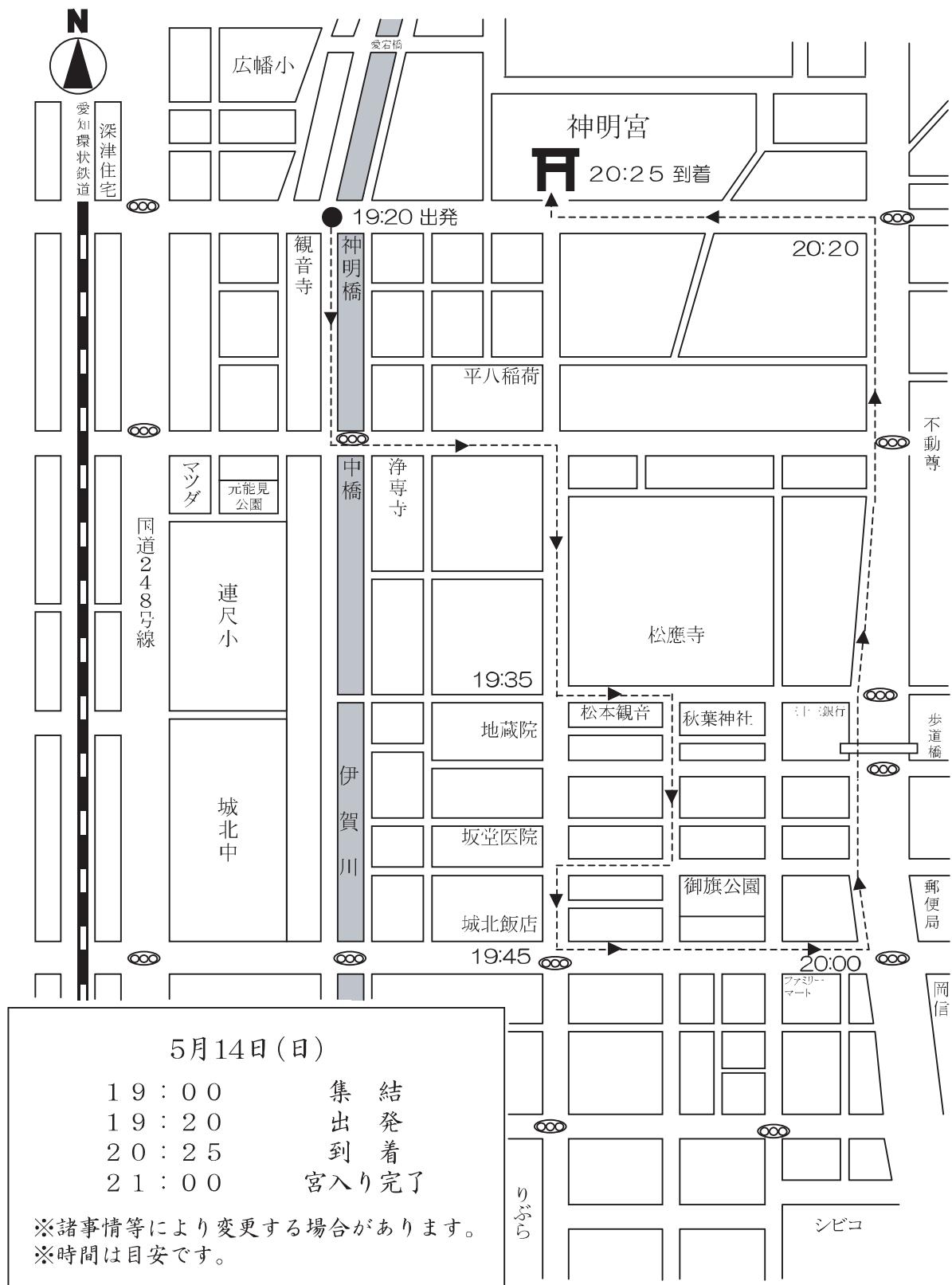
夜の7時をすぎた頃、8台の山車の提灯が一斉に点灯し、高張提灯を先頭に動き始めます。そして、およそ2時間をかけて、氏子各町をお囃子の音を響かせながら廻り神明宮に向かいます。

境内に集結した後、山車の舞台では奉納の舞が華やかに行われます。この時、祭りは最高潮に達します。



山車宮入り

山車宮入り順路図



山車町曳き順路図・山車紹介

能見南之切



江戸後期制作 一層漆塗り

山車彫刻 前山欄間、柱「龍」前山懸魚「鶴」大屋根懸魚「鳳凰」脇障子「菊」

欄間「龍、鶴、菊」木鼻「獅子」

山車幕 腰幕（紺地に金糸の龍、雲）見送り幕（赤地に「能見町南」）

前山の柱に彫られた龍の目に光が当たると雨が降ると言われ、晒を巻き目隠しがされています。12年に一度、辰年の年には開眼昇竜の儀を行い、新しい晒に巻き替えます。

全長440cm 全幅280cm 全高440cm 重量2,200kg



材木二丁目



大正4年制作 一層漆塗り

山車彫刻 壇箱「阿吽の獅子、力神」前山鬼板「梅福仙人」前山懸魚「鳳凰」

前山太平鰐「阿吽の獅子」前山蟇股「龍」前山木鼻「猿、獅子」

山車幕 腰幕（紺地に金糸の龍）

山車の内部天井には西東畠渓の墨絵の昇り龍を中心に、その周りを彩色された四季の花鳥十二図柄が取巻くという見事な天井画が描かれている。

全長440cm 全幅260cm 全高400cm 重量700kg





昭和35年制作 二層御殿屋台形式 棟梁 平野孝

山車彫刻 二層前後鬼板「阿吽の獅子」前面鬼板、懸魚「天岩戸」

後面鬼板「勧進帳」前欄間「矢作橋行列図」横欄間「高砂、七福神」

前御簾脇「雲竜、竹虎」後御簾脇「鼓、扇」

山車幕 見返り幕

彫刻は岡崎の彫刻師、江坂兵衛の作、内部には二代前の山車の彫刻「陰陽の龍」が掛けられており、江戸時代末期の作とされる。

全長440cm 全幅340cm 全高460cm 重量1,100kg

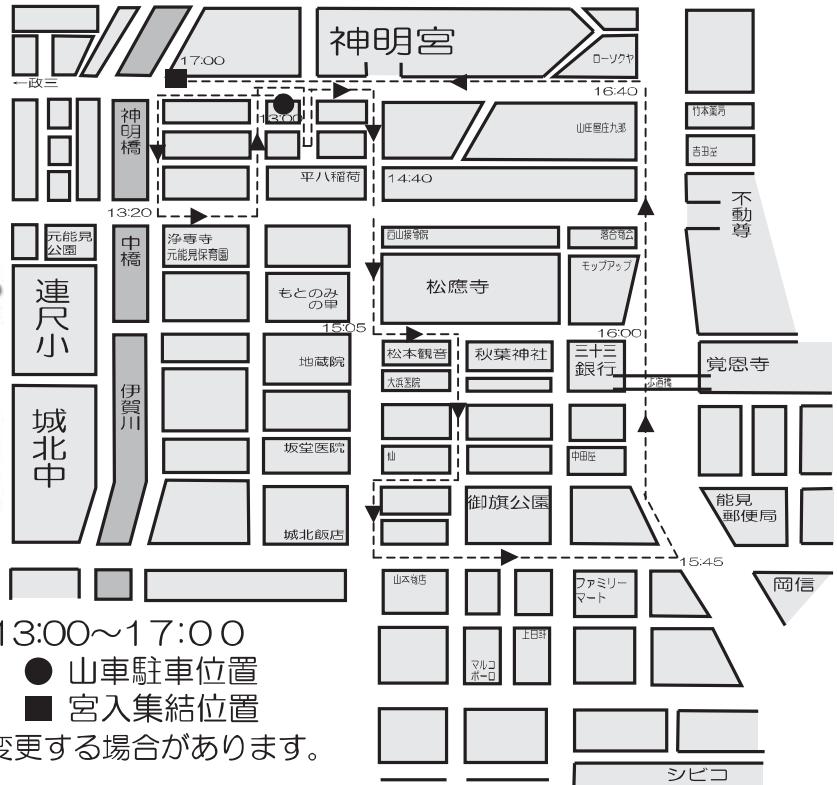
医療法人
大浜医院
内科・外科

松本町1丁目91 TEL: 052-21-0743



松本町1の107(107ビル) PHONE 23-8110

元能見中町



昭和32年制作

現存の山車は町内在住の大工さんを中心に建造。昭和34年能見北之切の二層部の唐破風、檜組を貰い受け改修。昭和35年前輪をゴムタイヤに改修。平成11年神明宮神文（五三の桐）を透かし彫りし、山車前面に飾られている牡丹の花と境内に咲き誇る藤の花を主題に友禅夢樹の絵柄として制作。それを行燈に仕上げ、全面左右に施しています。

全長420cm 全幅260cm 全高365cm 重量1,100kg

鮓処 政三

岡崎市葵町一ノ二 (深津住宅ビル)
 ☎ 28-7233

日本石材工業界の専門紙発行
日本石材工業新聞社
 本社 岡崎市上佐々木町字鹿乗 21-3
 電話 (0564) 2100番(代)
 郵便番号 444-0936

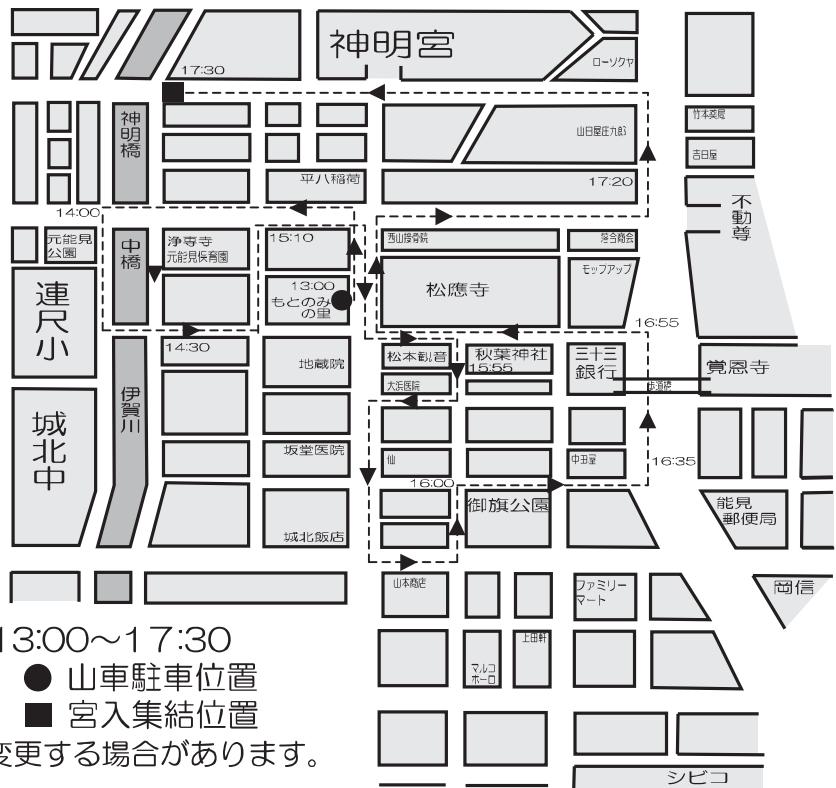
元能見南町



5月14日(日) 13:00~17:30
←----- 順路

● 山車駐車位置
■ 宮入集結位置

※諸事情等により変更する場合があります。
※時間は目安です。



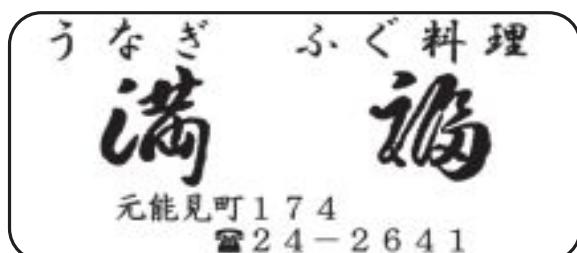
昭和33年制作 総白木造り

山車彫刻 龍、鶴、玄武、唐獅子牡丹

山車幕 水引幕、見返り幕「元能見南の文字」

制作は山車が伊藤正雄、彫刻は渡辺武雄、両氏ともに元能見南町に在住されていました。

全長460cm 全幅260cm 全高365cm 重量1,200kg



城北町



昭和31年 元能見北町、西町が東材木町より譲り受け、昭和51年には元能見西町が分割され、現在は元能見北町、城北町の2町で共有しています。山車前面には仏壇彫りの彫刻が施され、山車内部の天井には昇り龍が描かれています。側面には朱色の腰幕が飾られています。舵取り装置を持たないので曳き回しは豪快無双です。

全長525cm 全幅405cm 全高390cm 重量1,400kg

内田クリーニング店

岡崎市城北町12番地34
TEL 21-4989

スズキ販売岡崎

(株) 中川自動車

連尺小学校前 末広町3-1
TEL 21-4815代



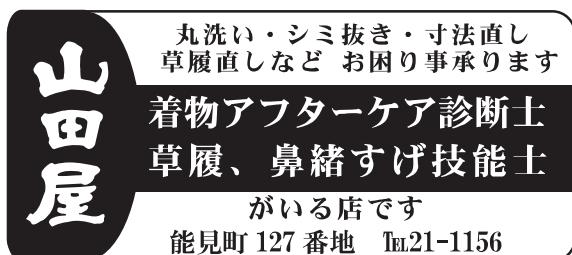
能見北之切



昭和31年制作

明治中期頃よりあった高層式の山車の前山及び彫刻を利用して制作されました。彫刻は文政5年(1822年)、多くの山車彫刻を手掛けた名古屋の彫刻師、瀬川治助重定の作になります。金糸で町名を縫い取った幕が山車の全面、側面を飾っています。

全長420cm 全幅310cm 全高400cm 重量900kg



能見中之切



昭和28年制作 総檜造り

山車彫刻 作者:不詳 前山唐破風懸魚「梅福仙人」前山欄間、壇箱、脇障子「龍」

山車幕 水引幕（赤地に「能見中之切」の刺繡）腰幕（紺地に阿吽の獅子）

見返幕（赤地に「能中」の刺繡）元治元年（1864）作

制作時、車輪は松の輪切り材で梶取り装置はありませんでしたが、昭和50年金属製車台にゴムタイヤ、梶、ブレーキ装置付きに改造、その後に制作時の車輪、梶なしに戻すが平成20年現在の金属製車輪、梶の取付を行う。

全長520cm 全幅340cm 全高430cm 重量1,200kg

人三義重工の冷熱商品

落合商会

岡崎市能見町270 24局2410番

五万石

GOMANGOKU

岡崎市能見町2丁目3番地(バス停前) TEL0564-23-2528(代)

岡崎三大祭り・神明宮大祭を写す会

毎年、5月に行われる神明宮の大祭は、岡崎の三大祭りのひとつとして、広く市民に親しまれています。氏子による八台の山車曳きは、城下町岡崎の下町情緒を今に伝える伝統の祭りです。この祭りの行事等を写した作品を募集します。応募方法等は下記にお問い合わせください。

中日新聞岡崎支局内中日写協岡崎支部
〒444-0863 岡崎市東明大寺町16-18

昨年の入賞作品を紹介します。

今年もこれらに負けない作品をたくさん写して応募してください。



特 薦 (神明宮神社役員賞)

「五色旗」
橋本まさ美氏撮影

推 薦 (神明宮宮司賞)

「神社梵天付き添い宮入り」
小林正治氏撮影

製紙 製鋼 非鉄

(有)飯田商店

柿田町6-3
23-3129

ダスキンレントオール

岡崎ステーション
0564-22-1777

何でも
レンタル
いたします

- ◎貸テント ・ やぐら等設営
- ◎ベビー用品 ・ バーナー ・ 冷蔵庫
- ◎テーブル ・ 椅子 ・ 音響 ・ e t c



準特薦 (神明宮氏子総代賞)
「宮入りの山車」
伊藤裕寛氏撮影



準特薦 (神明宮町総代賞)
「神前奉納花火」
齊藤博之氏撮影



準特薦 (神明宮年行司賞)
「先獅子」
川口洋氏撮影

常に新鮮な魚を、安定した価格で皆様にお届けいたします。

岡崎中央魚市場株式会社

岡崎市上六名4丁目3-14
TEL:0564-53-9111 FAX:0564-54-9100

岡崎市の新築戸建て・分譲住宅・建売なら

MIKI 犬飼ミキホーム

岡崎市舳越町字朝倉20番地1

0120-34-1770

編集後記

神明宮ガイドブック編集長 築瀬 太

春光うららかな季節を迎えて、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、3年続いたコロナ禍ですが、3月13日からマスクの着用が大幅に緩和され、5月8日からは感染症2類相当から5類へと位置づけされる予定です。また、大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、この神明宮氏子内にも多くの人が訪れるようになります。まちに賑わいが生まれてきております。



そうした中、本年も神明宮例大祭が挙行されるにあたり、心よりお慶びを申し上げます。

昨今は、人と人とのつながりが希薄になっていき、地域コミュニティの崩壊が危惧されるところです。新しい生活様式への変容が求められていますが、人のふれあいや絆が失われてはなりません。

神明宮の氏子中におきましては「神明さん」をよりどころとし、祭礼行事などを基盤に、地域コミュニティがしっかりと守られてまいりました。子どもからお年寄りまでが、神社や町内のお役などを通じ「人と人が支え合い、互いに必要とされる幸せ」を感じることが出来ている、すばらしい地域であるとあらためて誇りに感じています。

そしてこれからもこの地域の絆を守り育むために、大祭はじめ様々な行事の実施等にご尽力いただいている、神社や町内のお役の方々、地域の皆様に心より感謝と敬意を表し、編集後記といたします。

神明宮ガイドブックに、御協力いただいた方々に御礼申し上げます。
能見南之切

ウッド洋菓子店

岡崎市能見通1丁目83番地
(愛知屋仮塗本舗より5軒東へ)
TEL<0564>21-9990
<http://wood-yougashi.com/>



天野歯科・矯正歯科医院
0564-21-0595

YAMADA

株式会社

山田電気商会

〒444-0073 岡崎市能見通1丁目20番地
TEL 0564-24-0500 FAX 0564-24-0516
E-mail : yamaderen@catvmlcs.ne.jp
URL : <http://www.yd-syokai.com/>

三州菓子工房

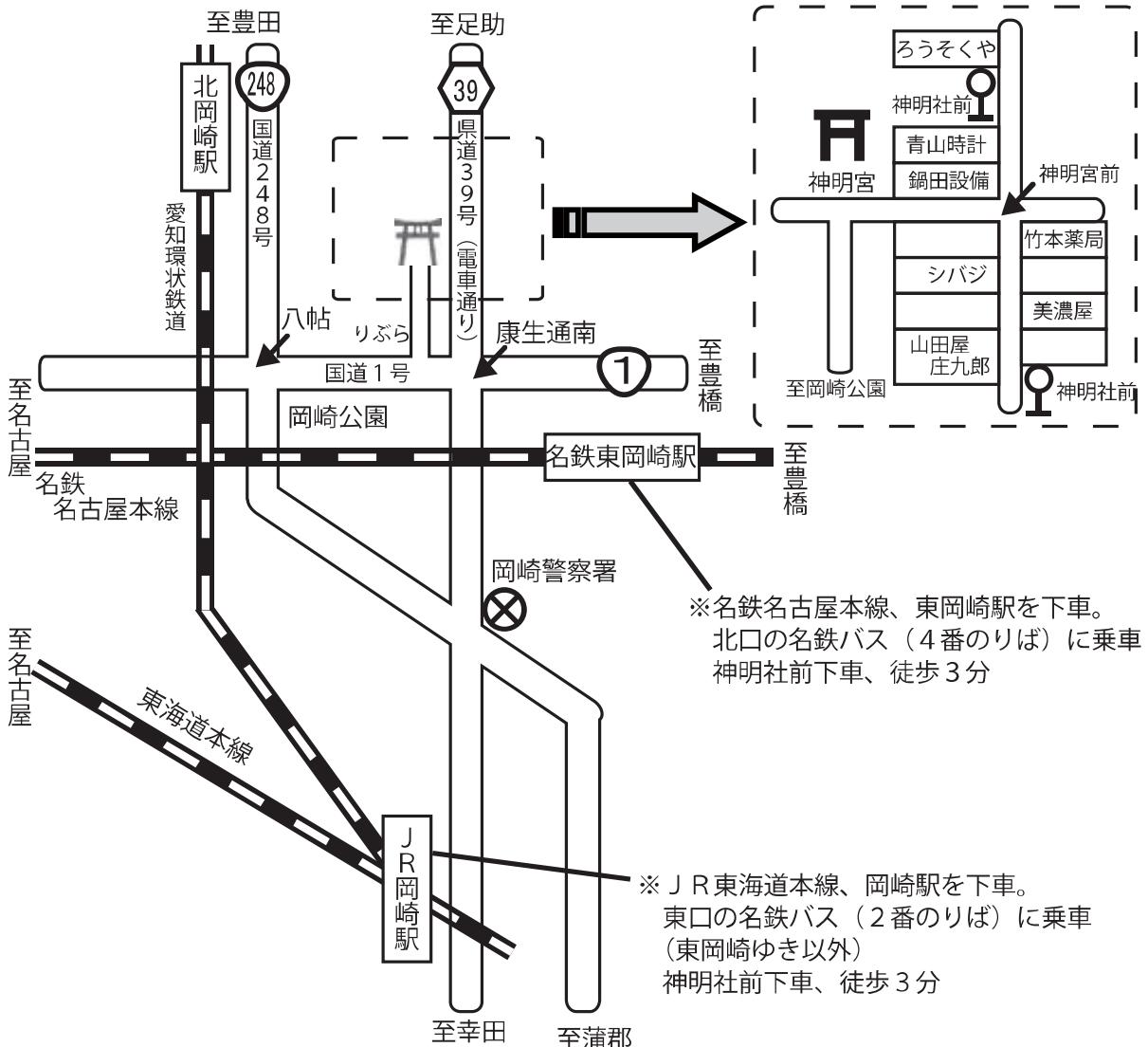


ありがとう。
かりんとう。

できたらかりんとうはかり売り
営業時間 平日▶10時~16時

有限会社 中田屋 能見通1-44 TEL 21-3057
10時~16時 平日・祝日定休
<http://www.nakataya.org/>

神明宮へのアクセス



神明宮では

- ・家内安全
- ・交通安全
- ・厄除祈願
- ・安産祈願
- ・初宮詣
- ・進学祈願
- ・合格祈願
- ・成人式
- ・方位除祈願
- ・地鎮祭
- ・棟上げ式
- ・新年の祈願

など、いろいろな神事を執り行います。お気軽にご相談ください。

岡崎市元能見町42-1

神 明 宮



TEL 0564-22-6706

<http://www.nomi-shinmeiguu.com/>



能見南之切



材木一丁目



材木二丁目



松本町



元能見中町



元能見南町



城北町



元能見北町



能見北之切



能見中之切